

# 防曇コートレンズ 要領(小売店様向け)

伊藤光学工業株式会社

## 防曇コートレンズについて

### ◆加工方法

加工時の印点用インク等が染み込むのを防ぐ為、保護膜(水溶性)を施してあります。  
レンズ面に油膜のように見えるのが保護膜です。  
※染色品の色調・濃度確認は、加工後に保護膜を除去してからご確認願います。

1. 保護膜が付着したまま玉型加工を行ってください。
2. サイズ調整が終わりましたら、水洗いしながら保護膜を除去します。  
メガネクロス等で汚れを拭き取るように洗うと除去できます。
3. 水分を拭き取った後に防曇コート専用メガネ拭きで拭き上げてください。

### ◆使用方法

#### 【通常時】

- ・軽い汚れはレンズ面に呼気を吹き掛けながら通常のメガネクロスで拭いてください。
- ・酷い汚れは水洗いをしてから通常のメガネクロスで拭いてください。

#### 【防曇効果が薄れてきた時】

- ・レンズ面に呼気を吹き掛けながら防曇コート専用メガネ拭きで拭いてください。
- ・上記の方法で防曇効果が戻らない場合は、水洗いをして水分を軽く拭き取った後に防曇コート専用メガネ拭きで綺麗に拭き上げてください。

### ◆注意事項

**当レンズは「曇りにくいレンズ」で「曇らないレンズ」ではありません。**  
下記のような場合はレンズが曇る場合があります。

- レンズ面に汚れが付着した場合。
- 極端な温度や湿度変化があった場合。
- 多湿の環境下で長時間使用した場合。

マスクをした時など、レンズに蒸気が付着し、視界がにじんで見える事があります。  
(※これは曇りではありませんが、水分が溜まり、視界に支障を来す場合は、  
水分を拭き取ってください。)  
氷点下ではレンズ表面の水滴が凍り、曇ったような状態になることがあります。

**レンズを濡れたまま放置すると、水ヤケやシミの原因になります。**  
**油脂成分が付着したまま放置すると、汚れが落ちにくくなります。**

水分や油脂汚れが付着した場合は、出来るだけ早く拭き取ってください。

## 防曇コート専用メガネ拭きについて

初回1枚はレンズと同封致します。(※その後はご購入ください)

[含浸成分]界面活性剤、アルコール

### ◆注意事項

★ **防曇コート専用メガネ拭きは洗濯や水洗いはしないでください。**

メンテナンス時の水分付着程度は問題ありません。

★ **幼児の手の届かないところに保管してください。**  
万が一、お口に入れてしまった場合は、直ちに口をすすいでください。  
異常が感じられた場合は、病院で受診される事をお勧めします。  
尚、その際の責任は負いかねます。

★ **引火する可能性があるため、火気には絶対近づけないでください。**

○ 出来るだけ汚れないよう保管してください。  
(お使いになる時以外は、渡し時に封入したケースなどに入れて  
保管・携帯して頂く事をお勧めします。)  
万が一砂埃など付着した場合は、はたいて落としてください。  
細かい砂埃が残っているとレンズ面をキズ付けてしまいます。  
その際には、新しい防曇コート専用クロスをお買い求めください。

○ フレームの材質によっては変質する場合があります。  
万が一、変質しても責任は負いかねます。

○ 防曇コート専用メガネ拭きは当レンズのみにご利用ください。  
当レンズ以外に使用され、レンズが変質しても責任は負いかねます。